

卒業特集号

卒業生に贈る

として保存して下さい

広い心と

豊かな心

学校長 村上忠夫



年々の学校生活に名残りを惜しむ気持がにじみ出ていて感動させられました。

早春のおとずれとともに皆さんの卒業も、もうすぐ目の前に来ています。皆さんのめでたい卒業にあたり、ひとこと述べてはなむけのことばにしたいと思いません。

皆さんの卒業記念文集を楽しく読ませていただきました。修学旅行や緑の学校の楽しい思い出があったスポーツ少年団で活躍したこと、転校して来たころの不安な日々のことなど、いずれも六

王さま

「ワーツ」みんなげた箱の所へかけて行った。

「早く行ってもしかたがない。」

二回、三回、小森のまねをしてゆっくり歩こうとしたができなかった。

小森は、からだもがっしりしているけど、心もしっかりしているよ。(六年男詩)

皆さんは、この詩を読んでどんなことを思いますか。作者は小森君のどんなところに感心しているのでしょうか。

人はだれでもまず自分のことを考え、自分を中心にして物を見、行動したいという心の一面を持っています。人より一歩でも先に電車に乗り、いい座席をとりたいたいと思う心がそれです。

この詩の中で、みんなのそうした先を争う行動の中にあつて、小森君の落ちついた行動は、王者のような重みを感じ、たのもしく光って見えるではありませんか。

皆さんのこれからの生活の中で、「自己を正しく主張する」ことは必要なことです。しかし、自分を大切にすることに必要なのは、自分をおさえ、人の立場を考えて行動する広い心を持つことです。

ある秋の日の午後、林の中の日だまりの、すすきの穂原に母がつねと三びきの子ぎつねが、毛をすりよせて眠っていました。

この短い文の中から皆さんは、どんな情景を思いうかべることが出来ますか。文中にあることば以外にもっとさまざまな情景を思いうかべてつけたすことができるはずです。「日だまり」や「すすきの穂原」ということばから、林の中のようすや、その季節についても、もっとこまかくつけ加えることができます。きつねのねぎまにしても一様ではないはずですよ。

これからの社会では「発想力」とか「想像力」がますます大切にされてきます。イメージする力と言ってもいいでしょう。イメージする力は、単なる「物知り事典」みたいな知識だけでは生まれてきません。

草木の息吹きや虫けらの動きに目をとめる、流れ星のふしぎさに疑問をいだくなど、豊かな心を持つことが大切です。そのためにも、自然に親しみ、読書を深めてほしいものだと思います。

広い心と豊かな心をますます育ててふくらませようお祈りしてお送りすることばといたします。

親子きつね



その頃



私が小学校を卒業したのは今から四十一年前、日本が今の中国と戦争をして

いた頃です。私の村からも多くの若者達が戦地に送られ、その何人かは二度と故郷へ帰って来ませんでした。そんな時代だったのです。中学に入学しましたが、すべてが戦争の為の生活でした。四年生になると、政府の命で本をすて軍需工場へ動員され、朝から晩まで働いていました。私は身体のけがで、現場事務に配属され工具類の管理でした。工場には多くのアメリカ兵の捕虜が働いており、彼等の必要な道具類を渡してやる仕事でした。私と工員二人捕虜一人(名前はカーン軍曹)の四人で、監視の兵の目を盗んで、お互いに身振り手振りで彼が「フィリップ」で捕虜になった事を聞きました。当時は食糧難で勿論捕虜はそれ以上で常に空腹

教頭 古市 祐治

を訴えていました。おやつと言えばサツマイモか、それで造ったアメ位でした。余りにも可愛想なので、監視の兵の目を盗んで工具や私は、時々カーン軍曹にそんなおやつを与えたりしました。或時、私がサツマイモ一個を彼にやり、倉庫のかけで食べるように言いました。彼は口をモグモグさせて「サンキュー」と言ってお出て来ました。でも心配になって彼の服にさわると未だかくしてしまいました。本当に空腹な時までしまっておくつもりだったので。そんな事があって彼はお礼だといって「コシヨウ」をかくし持って来、私の弁当にかけようとし私は弁当を持って逃げ廻りました。その様な戦争の中にも楽しい毎日でした。このように、私達は物の不足、苦しさの中に育ち、それに堪え人間として生長して来たのだと言えます。最近の非行の増加を見る時、今の平和な、物の豊富さ、自由の中に育つ君達は幸福であり、また不幸であるとも言えます。

卒業生に

贈るひとこと

職員から



六年一組 平田 清則

親を悲しませることは、自分も不幸になることである。



六年二組 坂野 修一

何をすることも健康第一。強い身体と立派な心をつくってください。



六年三組 丸山 洋子

他に対する思いやりと、自分に対するきびしさを持って下さい。



六年四組 小谷 博美

強い心と強いからだ、自分の正しいと信じる道を 進める人に！



六年五組 杉本八重子

健康第一として、自分の行動には責任と、反省を忘れないように。



五年一組 小林 秋次

卒業おめでとう。心に曇りが無い絶えず見つめて確かな歩みを。



五年二組 末沢 元宏

卒業おめでとう。バラ色の未来はみずからの努力で築こう！



五年三組 都築きよ子

卒業おめでとう。自分に厳しく誠実に、歩んでください。



五年四組 倉田喜美子

「力一杯」なにかをやっている姿で、とても美しいですね。



五年五組 武藤 弘

卒業おめでとう。何事にも苦しい事に耐えて、がんばって下さい。



五年五組 安達 禎子

御卒業おめでとう。中学生になっても、しっかり努力して下さい。



四年一組 松井 茂

だれにでも力はある。ただ意志が足りないのだ。強く、強く。



四年二組 中山 佳之

「みんなは一人のために一人はみんなのために」



四年三組 秦 佳子

中学校では、クラブ活動を、しっかりやってください。



四年四組 桜井美佐子

強く正しく美しい心情をもって、大きく伸びてください。



四年五組 高橋てる子

「能力の差は小さいが、努力の差は大きい。」がんばろう。



四年六組 山田 考枝

卒業おめでとう。自分には、きびしく、人には、やさしく。



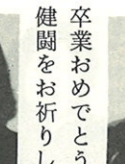
三年一組 伊藤 美穂

ご卒業おめでとう。自分には厳しく、人には優しい気持ちでね。



三年二組 平子伊都子

玉磨かざれば光なし、常に健康に留意して 努力精進して下さい。



三年三組 安藤 勤



三年四組 近藤 依子

卒業おめでとう。羽津中学校での健闘をお祈りします。



三年五組 山本 和子

その日 その時を 大切に がんばって ください。



三年六組 水谷 敏夫

青い空のように、いつも、すみきった心で……



二年一組 松井 妙

健康で、明るく、友だちにしたらわれるような人になってください。



二年二組 市川 淳子

善悪のけじめを考えて、正しい道に励みましょう。



二年三組 石咲 晴美

ご卒業おめでとう。これからは、中学生としての自覚を持ってください。よく見る目、よく聞く耳、そして素直な心を育ててほしい。



二年四組 岡田ふみ子

幸せは、自分でつくるものです。「素直な心」で 努力しましょう。



二年五組 広瀬 松代

ご卒業おめでとうございます。心と身体の強い人になって下さい。



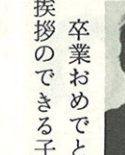
二年六組 安田 光男

若さの可能性は、限らない。地に足をしっかりとつけて、進もう。



一年一組 小柴恵美子

ご卒業おめでとう。心身ともに健康で意志の強い人になって下さい。



一年二組 筒井 和子

卒業おめでとうございます。挨拶のできる子になりましょう。

築立ちの ことば



六年一組

吉田 智 先生、ありがとうございます。中学生になってもがんばります。先生、ありがとうございます。健康で責任のある中学生になります。六年間ありがとうございました。これからも一歩一歩がんばります。いろいろなあった小学校生活。また中学校で勉強いやだなー。さあ、中学生だ。大きな、目標にむかって、ゴー！

堀川 秀樹 六年一組の教室先生友達いっぱい。思い出を残してくれてありがとうございます。

伊藤 博啓 小学校で、ならったことを中学校での勉強運動に大いにつかおう。六年間先生方ありがとうございます。した中学になってもがんばります。中学校になっても、小学校ののびいけいけんをわすれはしない。川崎から転校してきて一年半、たのしい毎日をすごしました。小学校と言う巣から、中学校へ、飛びたとう。

葛山 丈士 あつとゆう間にすぎた六年間、かなしみや楽しかった六年間。六年間、お世話になりました。中学校へ行っても、がんばります。中学生になったら小学生よりもっと勉強にはげよう。

市川 晋裕 羽津小学校ですごした六年間思い出いっぱい校舎とも、お別れだ先生、校舎よ六年間の思い出を作ってくれてありがとうございます。

北村 武 いろいろな、思い出のある、母校羽津小。

藤井 裕通 中学生になったら、勉強に運動にはげよう。小学校と別れ、新しい中学校に向かってがんばります。石原久美絵 羽津小学校六年間の思い出は一生忘れることはないだろう。私は、希望を持って中学に進みます。先生お世話になりました。先生方、六年間ありがとうございます。これからもがんばります。楽しかったり、苦しかったりした六年間。いつまでも忘れない。杉山真由美 六年間 育てくれた先生、ありがとうございます。川田はるみ 六年間の楽しい思い出 本当にありがとうございました。前田 直美 羽津小学校の、先生方六年間お世話になりました。水谷 好江 六年間長い間お世話になりました。中学校へ行っても、がんばります。いろいろな事があったこの六年間、いつまでもいい思い出になるよう



音楽専科 大市ます美



体育専科 藤井美佐江

健康に気をつけ、希望を持って前進しましょう。



一年六組 服部ツヤ子

何事も努力、常に前進することを祈ります。



一年五組 伊藤 静子

卒業おめでとう。健康を第一にたゆまぬ努力を続けてください。



一年四組 岩井千代子

卒業おめでとう。自分で責任のもてる心の強い人になりましょう。



一年三組 隅田 信子

卒業おめでとう。いつも心に音楽を忘れずにいてください。



栄養士 松岡 正子

君たちは、今 ゴールイン・スタート。たえず、前進あれ！



主事 田中 久次

ころんでも、すぐ立ち上る。強い心身を、またえてください。



養護 伊藤 光子

道端の雑草のように、風雨に負けず、がんばって下さい。



図工専科 内山 治男

音楽の美しさや楽しさのわかる、心の豊かな人になって下さい。

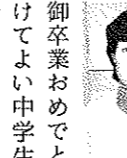


音楽専科 山本 文

卒業おめでとう。いつも心に音楽を忘れずにいてください。



給食 稲田千香子



給食 服部 初美

御卒業おめでとう。健康に気をつけてよい中学生になって下さい。



給食 伊藤としゑ

御卒業をお祝いし、ご多幸をお祈りします。

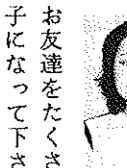


給食 伊藤 栄美

美しい、やさしい心を、いつまでも大切にしてください。

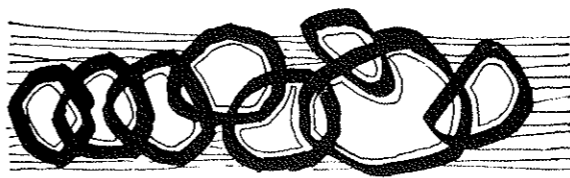


用務員 水谷富美子



事務補 水谷 栄子

お友達をたくさん持てる、明るい子になって下さい。



御卒業おめでとう。健康で明るい人になって下さい。



給食 山川みさ代

御卒業おめでとう。健康で明るい人になって下さい。



給食 横山 康子

御卒業おめでとう。健康で明るい人になって下さい。

須藤万里子
先生、六年間どうもありがとうございました、
中学になってがんばります。

井上 広美

中学校になって、小学校の思い出を一生忘れません。

平賀 千晴

中学校になって、小学校のみんなを忘れません。

稲垣 有美

遊び、勉強の思い出のある小学校を、いつまでも忘れず中学校へ。

田中 昌美

ありがとうございます、楽しい思い出。さようなら、羽津小学校の先生。

福井 亨子

お父さんお母さん先生方のおかげで私たちは中学へとすだちます。

青木 弓子

五年の時転校して来たけど二年間楽しかった。羽津小学校さようなら

藤井千代子

羽津小学校の先生方、この六年間いろいろお世話になりました。

森 真澄

六年間 お世話になった先生どうも ありがとうございます。

須藤 康子

中学校に入っても、バレーボールクラブに入ってがんばりたい。

森下 幸子

先生ありがとうございます。さようなら羽津小学校。

長島 陽子
いろいろな事があった小学校。その教訓を生かし、中学校へ。

尾崎 信彦

明日への、希望へ、つばしれ。

米村 信二

今までの思い出はこのまま残して今度は今までより良い思い出を。

竹田 俊輔

中学生になったら、目標を決めその目標を達成するまで努力を。

浜野 久

小学校生活で、出来なかった部分を、中学校で、ためしてみたい。

六年二組

森 秀樹

小学校生活が終わり中学校生活が始まる。これからはがんばろう。

尾崎 信彦

明日への、希望へ、つばしれ。

米村 信二

今までの思い出はこのまま残して今度は今までより良い思い出を。

竹田 俊輔

中学生になったら、目標を決めその目標を達成するまで努力を。

浜野 久

小学校生活で、出来なかった部分を、中学校で、ためしてみたい。



山本 光司

小学校生活も、もう終りだ。中学生になっても、がんばるぞ。

原田 貴文

さらば小学校。中学校へいって何事も、根性だ。

藤井 久士

楽しかった六年間も終わった。中学校に向けて前進しよう。

伊藤 友彦

小学校が、おわった。あすからは新しい心でがんばろう。

稲垣 達也

小学校生活は終わった。中学校になってもがんばるぞ。

荒木 信貴

あつというまに、六年間がすぎた。残念だ。中学生で、とりもどそう。

春木 佳仁

小学校生活は終わった。いまはくらは中学生の門をくぐりぬける。

沼田 桂介

中学生に、なったら、小学校の、六年間よりも、もっとがんばるぞ。

岡田 和良

小学校の生活ももうおわりだ。中学校にいてもがんばるぞ。

高森 康豪

六年間がおわった。けれども、中学校になったら、がんばるぞ。

生川 智也

小学校で、出来なかったこともあったけど、中学校でがんばるぞ。

川島 良昭

この六年間、お世話になった先生がた、ありがとうございます。

小林 永嗣

いままでの思い出。中学生になっても、いい思い出をつくりたい。

井上 正人

小学校で、できなかった目標を、中学校でじこくしてみたい。

田中 真吾

中学生になったら勉強やクラブ活動にがんばる。

河間 弘樹

小学校生活は終わりだ。新しく始まる時代にむけて、がんばろう。

岩田 哲也

気持ちをひきしめて、中学生生活をおくろう。

高橋 実代

もうすぐ中学生だ。小学生の六年間の思い出を心に残しておきたい。

鈴木美喜子

中学校へ行っても、小学校以上にがんばりたいと思います。

西塚 里美

明るく、楽しかった小学校生活中学校へむけて、がんばろう。

山本 りか

小学校時代の、楽しい思い出を、心に、中学校への、道を歩もう。

増田 直子

小学生がもうおわる。こんど中学になったら、べん強もがんばる。

須藤万里子
先生、六年間どうもありがとうございました、
中学になってがんばります。

井上 広美

中学校になって、小学校の思い出を一生忘れません。

平賀 千晴

中学校になって、小学校のみんなを忘れません。

稲垣 有美

遊び、勉強の思い出のある小学校を、いつまでも忘れず中学校へ。

田中 昌美

ありがとうございます、楽しい思い出。さようなら、羽津小学校の先生。

福井 亨子

お父さんお母さん先生方のおかげで私たちは中学へとすだちます。

青木 弓子

五年の時転校して来たけど二年間楽しかった。羽津小学校さようなら

藤井千代子

羽津小学校の先生方、この六年間いろいろお世話になりました。

森 真澄

六年間 お世話になった先生どうも ありがとうございます。

須藤 康子

中学校に入っても、バレーボールクラブに入ってがんばりたい。

森下 幸子

先生ありがとうございます。さようなら羽津小学校。

有吉ゆう子
六年間、とっても楽しかった。中学校に、行ってがんばるぞ。
川元 明子
六年間の思い出を、いつまでも忘
れず、希望を持って歩みます。
山田 和美
小学校生活ももう終わりだ。中
校へいっても、がんばります。
鶴野 孝美
小学生の道をさよならして、中
生の道をしっかり歩んで行こう。
小川 玲子
長かったようで短かった六年間
中学生もくいのないようガンバル。
内田 綾美
小学生も終わり、四月からは中
学生だ。思うぞんぶんがんばろう。
三戸 章代
小学校のいやな思い出を追いは
らって、中学校へ、出発！
藤井 利恵
先生ありがとうございます。中
学校へ行っても、がんばります。
森下久美子
小学校とはお別れだけれど、中
学生になったらがんばります。
山下 弥生
これで、小学校は、おしまい。先
生方、ありがとうございます。
一圓 規子
とても楽しかった小学校六年間。
中学校に行ってもがんばります。



小谷 真利
小学校の思い出を、わすれずに、
中学校でも、がんばろう。
岡野 正美
六年間の思い出をだいにし、明
日に向かって羽ばたく。
徳力 有美
今年、転校してきて急がしかつ
たが、来年は中学生、がんばる。
田中由里子
さようなら6年生。新しい中学一
年生いつも明るくがんばりたい。
渡辺 佳子
小学校の思い出を胸に、中学生に
なっても、がんばります。
杉野 結香
六年間の思い出、たくさんあった。
中学校になっても、がんばるぞ。

六年三組

鈴木 貴子

たくさん思い出は、いつまでも
忘れません。小学校さようなら
卒業しても小学校で学んだこと
をわすれずがんばっていきます。

小林さとみ

未来への道に向かってがんばりま
す。先生方ありがとうございます。

駒野 加奈

今までの友達を大切に、もっと
多くの友達をつくらう。

林 容子

中学生になっても友達を大切に、
健康に気を付けよう。

馬場 友美

過ぎ去った思い出を、胸いっぱい
ふくらませ、新しい門をくぐらう。

藤井 由貴

先生方ありがとうございます。
希望とゆめをもって前進します。

沖 祐子

さくらの花につつまれて入学して
行く中学校では負けないでいこう。

中山由架理

先生たちにいただいた、まごころ
を忘れずに中学校もがんばろう。

森 美紀

中学校へ行っても、小学校での
思い出を大切にしたい。

清水ほづみ

六年間の思い出をいつまでもわす
れずがんばろう。

伊東 里実

中学生になっても、羽津小学校で
教わった先生を忘れません。

阪 詞子

先生方この六年間うけもつてくれ
てどうもありがとうございます。

石田さかえ

希望とゆめを胸にして中学校の門
をくぐりたい。

前田 照美

転校だったので、二年間半しかい
なかつたのですが先生方ありがとう。

荒木 幹子

小学校での思い出を忘れず、中
校になってもがんばろう。

大野 リカ

先生今まで教えてくれてありがた
う。中学校でもがんばります。

青井 美姫

白い雲に希望をのせて、新しい、
世界への一歩をふみだす。

池内 仁美

中学校になっても、運動や勉強に
がんばろう。

福田 聖子

六年間、いろんな事を教えてくれ
た先生方ありがとうございます。

堀木 正美

先生たちこの六年間ありがとう。
私は、未来への道を歩き始めます。

向井さおり
この小学校生活6年間を大切な思い出にしよう。

岩田 素久
夢と希望を持ち新しい中学校の道をあゆもう。

森 孝幸
中学校になったら、くじけずにせいっぱいがんばろう。

後藤 勝
中学生になっても、小学校ですごした思い出を忘れずがんばろう。

田中 茂一
中学校に行ったら、友達をいっぱいつくりたいと思う。

森 真人
なにごとにも負けない強い心と勇気をもって中学校にはばたきたい。

小野 陽弘
もうすぐ中学生だ。精いっぱいがんばって強い心と体を作ろう。

渡辺 和明
ぼくは、中学校へ行っても、小学校六年間のことを忘れません

木野村伸一
未来の道をしつかりとみきわめて、いっしょうけんめいがんばろう。

岩野 拓也
夢と希望を持ち、中学校の門へ一直線

小川 天平
小学校の思い出を忘れず、明るく素直な、中学生になりたい。

斉藤 培
小学校生活は終りだ、今からは、中学校生活をまっすぐ進もう。

藤井 英成
中学校へ行っても、太陽の中で、大きく育とう。

山下 知則
希望と夢を持って、新しい中学校の、校門を、くぐりたい。

平田 利郎
中学生になったらかしくなつてがんばろう。

森 茂俊
中学生になっても、クラブ活動や、勉強に、はげもう。

松崎 英治
広がる雲に未来を乗せて中学校へ行っても勉強、運動をがんばろう

加藤 広一
中学生になったら、なにごとにもまけないようにする。

佐藤 貴俊
くじけずに、勇気をもって、つきすすもう。

山本 幸児
小学校の、思い出はいつまでもわすれません。

吉次 功一
六年間の思い出をいつまでも忘れず、がんばろう。

古市 耕三
六年間という長い間の思い出は、中学校へいってもわすれません。

藤井 郁也
中学生になってもみんなに負けずがんばろう。

行本 直美
中学生になっても、正しいことは最後まで、やりとげよう。

小坂 智美
小学生の思い出を、大切に自分の心の中にしまっておきたい。

森 隆子
私が、中学生になったら、勉強、運動、クラブに、はげもう。

広瀬 環
中学校へ行っても、小学校での六年間は、心にしまっておこう。

田中 利味
中学生になったら、だからも命令されず自分の強い意志を持つとう。

森 さゆみ
中学生になったら、小学生の、何倍かりっぱいになって、生活したい。

森 正
小学校六年間の思い出、友達をばげみにして、歩いていこう。

広瀬 克典
勉強や、運動にはげみながら、良い心を作り、りっぱに育つ。

山下 泰弘
中学校に行っても、正しい道に沿ってあゆんで行く

浜下 竜則
中学校へいって、成績アップ。小学校は、後輩にバトンタッチ。

河瀬健一郎
中学生になっても、希望に向ってつき進み、心豊かな人になろう。

斉藤 邦宏
ついに小学校を卒業するとなると少し、さびしい感じがする。

伊藤 淳
夢と希望をもって
一歩一歩確実に進もう。

伊藤 俊治
中学生に、なつたら、悪い事は、悪いと、言えるようになるう。

鈴木加麗武
中学生になつたら、小学生の心をおいだす。

羽木 人史
いままで、勉強した、学校、みどり、これから後輩にバトンタッチ

大西 陽治
千里の道も一歩から。努力し、自分の道を歩んでいこう。

六年四組



六年五組

安田 幸宏
気をひきしめて、中学生へ、はばたこう。

藤井 正成
自分の意志を、しっかりと、歩んでいこう。

千賀 淳一
ぼくは、中学生らしい心を持ってクラブ活動や勉強にはげもう。

益城 栄二
中学生になっても、勉強や運動にはげもう。

稀代 英樹
中学生に、なつても今の友達を、大切にしよう。

吉沢 浩司
中学校という新しい世界に入り、勉強や運動にはげみたい。

安藤いずみ
これからは、大人に近づくのだから責任のある行動をとりた。

川北千登世
明日にむかって
はばたこう

鷺塚 尚美
私は、中学生らしい中学生になるように、努力します。

久米 貴子
中学生になったら、クラブは先輩と仲よく最後までやりとげたい。

仲村 聡子
すなおな心、折れる心、広い心を大切に、きれいな心でいたい。

新宅由未江
自分で良い事、悪い事を判断してみんなに協力出来るようになる。

樋口 恵美
中学生になつたら、予習復習を、しよう。

森 由美子
まっすぐ前をひいて、歩いて行こう。

森 実和
勇気をにぎりしめ、のびのびとはねをひろげよう。

森 紀代美
中学校へ行ったら、先輩といっしょに、クラブをがんばりたい。

渡辺 真弓
中学校になつても、仲の良い友達といっしょに、勉強を学びたい。

鈴木 美穂
中学校へ行っても、小学校での楽しかった思い出は、忘れません。

栗野佳代子
小学生の心をすて、新しい明日へむかってはばたきたい。

小田川菊江
今までよりも、もっと大きな希望を持ち、歩こう。

小池 美穂
中学生になつても、今までよりも努力し、何事もがんばろう。

市川 千浪
新しい学校、もう一度よく考えなおして新しい門をくぐりなおそう

行本 直美
中学生になつても、正しいことは最後まで、やりとげよう。

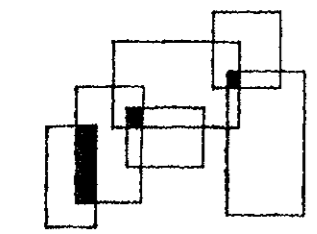
小坂 智美
小学生の思い出を、大切に自分の心の中にしまっておきたい。

森 隆子
私が、中学生になったら、勉強、運動、クラブに、はげもう。

広瀬 環
中学校へ行っても、小学校での六年間は、心にしまっておこう。

田中 利味
中学生になったら、だからも命令されず自分の強い意志を持つとう。

森 さゆみ
中学生になったら、小学生の、何倍かりっぱいになって、生活したい。



布目 賢史
中学校生活に、希望と期待に胸をふくらませ、歩みたい。

野呂 健一
もうすぐ中学生。勇気と希望を持って、新しい門をくぐろう。

井上 恭典
ぼくたちは、今、長い道を歩み、新しい門をくぐろうとしている。

石井 清彦
いよいよ中学生だが、何事も、努力して、がんばっていこう。

安井 祥吾
六年生のうちに、習った勉強をもとにし、中学校でがんばろう。

田本 敬
六年間の長い道を通りすぎて、中学生の新しい門をくぐろう。

近藤 幸郎
中学生という新しい世界に、はいろうとしている。新しい出発だ。

伊藤 寛二
想い出多い六年間。今始まる新しい日々を、くいくなく過ごしたい。

山本 伸哉
新しい中学校生活に、希望と夢をいだいて熱心に学んで行きたい。

城田 繁
思い出多いこの六年間を、ぼくは一生忘れる事は、ないだろう。

高森 勇治
中学生に、なっても、大切な心を造り、新しい門に向って走る。

綿井 孝之
先生方六年間どうもありがとうございました。決して忘れません。

藤井 茂人
中学生への出発。未来への希望と夢を、にぎりしめてとびたとう。

太田 僚

もうすぐ中学生だ。中学生になっても希望を持ってがんばりたい。

館 明義

小学校生活の六年間のよい思い出を胸に。中学でもがんばろう。

藤井 慎

この六年間の、思い出を心の中に残して、新しい門出をしよう。

岡屋 晃雄

希望という、二文字を背負って、中学校へ、新しい出発をしたい。

山本 拓也

新しい道に、希望と不安を背負って歩き始める。中学への出発だ。

石田 康行

六年間の思い出を友にたして、新しい成長の一コマにはばきたい。

山下 孝志

思い出を後に残し、中学校と云う道希望といっしょに歩み初める。

千賀 一平

希望を持って、出発だ。内気にならず、自分の考え、主張しよう。

山本 鉄雄
この小学校とも別れ、新しい気持ちで中学校へいこう。

藤井 幸治
もうすぐ小学生も卒業だ。これからは、中学生だ。がんばろう。

保田妃努美
もうすぐ中学生になる。希望を持って、毎日を一步一步前進しよう。

伊藤めぐみ

小学校の思い出を、いつまでも心に残し、これからはがんばろう。

佐藤 恵子

思い出深い、小学校生活を大切に、中学校へと、進んでいこう。

後藤由美子

思い出多い六年間中学校へ行って、もういっしょけんめい努力します。

山崎 由美

六年間、お世話になりました。中学校へ行って、がんばります。

福島 圭子

思い出多い六年間を心にひめ、中学生になってもがんばります。

鈴木 悦子

もうすぐ中学生、中学校へ行って、勉強や運動にがんばりたい。

柳沢美智枝

思い出多い。六年間。いつまでも夢を、持って、歩いていこう。

野崎 真弓

中学校に、行っても小学校六年間の思い出は、せつたいに忘れない。

森 久美子
小学校での思い出を大事にして、一步一步ふみしめて行きたい。

広瀬 幸子
六年間の思い出ありがとう。もうすぐ中学生。希望いっぱい中学生

安田 明美
さようなら思い出いっぱい小学校。中学校に行っても、忘れない。

谷口百合子

六年間、勉強で学んできた椅子、机とも、もうお別れだ。

鬼頭 玲子

楽しかった小学校生活、中学生になっても、忘れないでしよう。

荒木 礼子

六年間の思い出を心に残して、中学生へと、大きくはばたこう。

藤井 詩子

思い出多い小学校生活もあとわずか、中学校に行ってもがんばろう。

秋田由美子

もうすぐ中学校。小学校よりも、勉強、運動に、はげみたいです。

小南みゆき

小学校生活ともお別れ。中学校に行っても努力しがんばりたい。

早川 忍

思い出深い六年間。この思い出を大切にし、新しい門をくぐろう。

岡嶋 博子

小学校の思い出を心に残して、中学校の新しい門をくぐりたい。

編集後記

君達が生れた年より初まりました、羽津小学校の改築工事も、皆んなの卒業の年に完成し、三代、四代と続きました、校舎、講堂も、とりこわされ、プール、体育館の新設等、行事の多い六年間でしたね。工事中で狭い運動場での体育等、思い出もひとしおのことでしょう。

羽津小学校開校百一年目に入学された君達……

お世話になりました諸先生方の御恩を忘れず、一步一步成長されますことをお祈りしております。

